

## 2011年11月4日の調査状況


### 1. 概要

4日 チャオプラヤ本川沿い，バンコク東部，バンコク西部の3方向に分かれて浸水エッジの把握，各治水施設の運用状況の把握，インタビューを実施した。

### 2. 調査結果

#### 【チャオプラヤ川本川沿い】

調査エリア Area	チャオプラヤ川左岸(キングスダイク結節点~堤防未整備区間)	
調査目的 Purpose	チャオプラヤ川左岸の堤防整備状況及び浸水状況の把握・ヒアリングによる被害内容の把握	
Report	<p>① 浸水域の下流端 上水用運河(写真左端)からあふれた水による浸水と見られる。道は浸水し、ボートでの通行が行われていた。</p>	
	<p>② 上：高架下の土嚢(奥がチャオプラヤ川)， 下：店先のコンクリート壁 チャオプラヤ川沿川は越水による流入を防ぐため土嚢が積まれている。人々が集まる船着き場になっており、この場所で一回目のインタビューを行った。 川から数十メートル離れたところにある店では、多くの店の前にコンクリートの壁が築かれていた。腰の高さほどで、土嚢による緊急堤防は毎年現れるが、このようなコンクリートの壁を目にするのは現地スタッフの方も初めてだそう。この壁は街中で見られる。</p>	 

	<p>③ チャオプラヤ川に沿った緊急堤防</p> <p>本川堤防とは別に川沿いの道に緊急堤防(土堤)が作られている。</p>	
	<p>④ 上：チャオプラヤ川 下：橋の上に避難された車</p> <p>チャオプラヤ川に近付くと浸水が見られたが、川を渡る橋につながる道が一段高く盛っており、この道によって下流の浸水が食い止められたことから、道路には堤防の機能が組み込まれていると考えられる。この道を進むと、橋の上には周辺の浸水地域から長い列を成して停められていた。</p>	
	<p>⑤ 上：ノンタブリ地区の浸水域 下流端 下：道路で止まった浸水域(キングスダイク?)</p> <p>この地点が浸水域の境界になっていた。ここから先の道路は車ではなくボートで通行するためボート乗り場ようになっていた。人が集まるため普段は道路であるところに露店が集まり、マーケットを形成していた。この場所でインタビューを行っていたところ付近の工業団地勤務の日本人から情報収集を実施。</p>	

	<p>⑥ 上：上流側堤防未整備区間 下：パブリック堤防の状況</p> <p>堤防未完成区間を調査。ここには水上に張り出すように貧民街が形成されており、多くの家があるため物理的に堤防を建てることができず無堤になっている。堤防には <b>public,private</b> の 2 種類があり、行政による堤防設置がない所ではコミュニティにより私的に設置されていることもあった。写真のように公・私堤防が二重になっている部分もある。</p>	
	<p>⑦ 上：上流側堤防未整備区間 下：排水口の状況</p> <p>下流側の無堤地区。この地区の浸水状況はまだそれほど深刻ではないが水位は高く、土嚢で防御がされていた。下の写真は水路からチャオプラヤ川に水を排水する水門。川の水位が低い時は門を開けて川に水を流すが、水位の高い今は市街地を守るために水門を閉めて川からの流入を止め、水路の水をポンプで川に吐き出している。増強工事が行われていた。</p>	
	<p>⑧ チャパタウォン地区浸水状況</p> <p>現在の水位は 5~10cm くらいだが、多くの家の前の入口には木の板やコンクリートで水を防ぐ壁が作られており、最高水位 30~50cm の印が残されていた。</p>	

【バンコク東部(チャオプラヤ川左岸側)】




調査エリア Area	スワンナプーム空港～タイ湾近くの放水路～キングスダイクの南端から北上	
調査目的 Purpose	1) スワンナプーム空港の水防活動状況の把握 2) キングスダイクの治水機能の把握	
Report	<p>① スワンナプーム国際空港の堤防 スワンナプーム国際空港はキングスダイクの外側に位置するため、独自に洪水対策がなされている。周囲 28km に高さ 2m の堤防を設置。堤防は粘土質の土でできている。</p> <p>②スワンナプーム国際空港のポンプステーション スワンナプーム国際空港の内水を堤防の外に出すために、南東と南西の各に 2 つのポンプステーションが置かれている。各ポンプ基上には、2m<sup>3</sup>/s の排水能を持つポンプが 4 基備え付けられている。</p> <p>③スワンナプーム水路のポンプステーション (N13°30'13.3" E100°44'45.0") スワンナプーム国際空港の南東には、スワンナプーム水路と呼ばれる海へと続く水路がある。海への出口付近にはポンプステーションがあり、水路の水は一度海拔 17m まで揚水され、高架水路を通過して海へと排水される。</p> <p>④バンコク東部キングスダイク キングスダイクはバンコク中心部を囲むようにつくられた堤防。周囲の地面と比べて 50cm 高い (海拔は 2.5m) 道路であり、知らなければ堤防と分らない外観になっている。</p>	  





【バンコク西部(チャオプラヤ川右岸)】

調査エリア Area	チャオプラヤ川右岸(キングスダイク探索～浸水エッジ～チャオプラヤ川右岸派川ターチン川水門及びポンプ機)	
調査目的 Purpose	チャオプラヤ川右岸地域の現状把握とインタビュー；キングスダイクの確認；水門及びポンプ機の視察；サンプル水の採取	
Report	<p>① バンコク西部のキングスダイクを中心に調査を実施。浸水のため北側のキングスダイクに陸路で行くのはほぼ不可能と考えられる。</p>	 
	<p>② ターチン川への水門及びポンプ機を目視調査。現場にいた大塚製菓の日本人派遣員から情報収集。ポンプ機は増設されている。ターチン川を視察後橋詰の寺院にてインタビュー。避難指示や情報伝達は地方議員など地元の有力者が行っているとの情報あり。</p>	

		
	<p>③ ターチン川への水門及びポンプ機を視察。ポンプ機は増設されている。水門が 2 つあるため開門の機能もあると思われる。ボランティアがポンプ機近くに住みこみポンプ機の維持、増設を手伝っているとの情報あり。サンプル水を採取。</p>	 

以上.